

問111 鼻腔の粘膜上皮の写真（別冊 No. 1）を別に示す。

名称はどれか。

- a 移行上皮
- b 単層円柱上皮
- c 多列線毛上皮
- d 重層扁平上皮

別 冊
問題 B No. 1 写真

問112 外舌筋はどれか。

- a 横舌筋
- b 上縦舌筋
- c 垂直舌筋
- d オトガイ舌筋

問113 写真（別冊 No. 2）を別に示す。

矢印で示す象牙質の成長線はどれか。

- a 球間網
- b エプネル層板
- c オーエン外形線
- d アンドレーゼン線

別冊
問題 B No. 2 写真

問114 細胞内小器官の透過型電子顕微鏡写真（別冊 No. 3）を別に示す。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 消化酵素を含む。
- b DNA が存在する。
- c 好気呼吸の場である。
- d タンパク質を合成する場である。

別冊
問題 B No. 3 写真

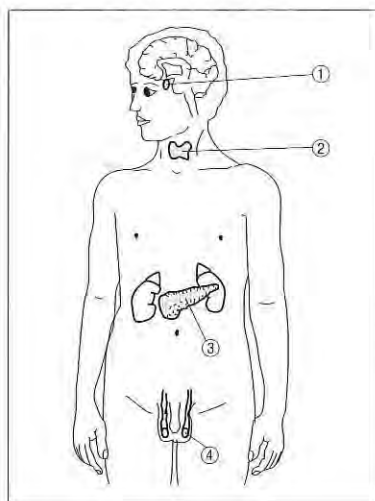
問115 線維状タンパク質はどれか。2つ選べ。

- a ケラチン
- b インスリン
- c アルブミン
- d エラスチン

問116 順応が最も遅い感覚はどれか。

- a 嗅覚
- b 味覚
- c 痛覚
- d 触圧覚

問117 内分泌腺を図に示す。



血糖値を減少させるホルモンを分泌させる部位はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

問118 解熱時に起こるのはどれか。

- a 発汗
- b ふるえ
- c 立毛筋の収縮
- d 末梢血管の収縮

問119 開口反射を引き起こす感覚を伝える神経はどれか。

- a 三叉神経
- b 顔面神経
- c 舌下神経
- d 迷走神経

問120 良性腫瘍について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 遠隔転移能をもつ。
- b 再発の危険性がある。
- c 周囲との境界は明瞭である。
- d 腫瘍細胞は浸潤性発育する。

問121 1つの歯胚からなるのはどれか。2つ選べ。

- a 双生歯
- b 癒着歯
- c 癒合歯
- d 歯内歯

問122 細菌とウイルスに共通なのはどれか。

- a 核酸
- b 細胞壁
- c 細胞膜
- d リボソーム

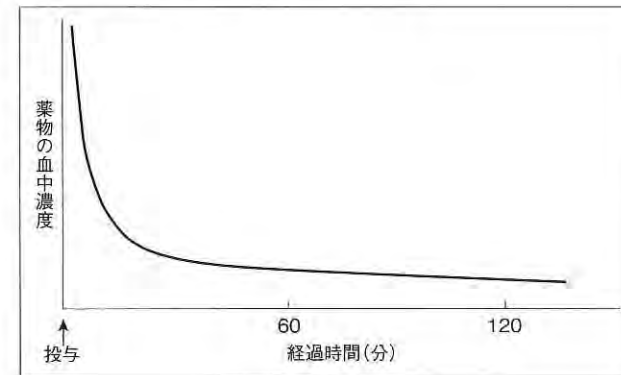
問123 グラム陰性菌に特有なのはどれか。

- a 線毛
- b 芽胞
- c 内毒素
- d リボソーム

問124 宿主の自然免疫として働く液性因子はどれか。

- a 補体
- b 抗体
- c 好中球
- d コラーゲン

問125 薬物の血中濃度の変化を図に示す。



投与方法はどれか。

- a 皮下投与
- b 経口投与
- c 筋肉内投与
- d 静脈内投与

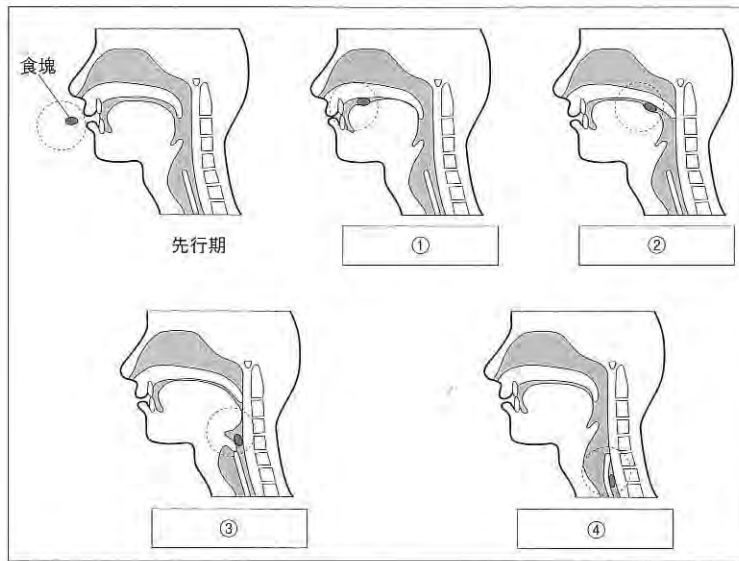
問126 密封容器に保存しなくてはならないのはどれか。

- a 錠剤
- b 注射剤
- c パップ剤
- d 含嗽・洗口剤

問127 一般統計調査に分類されるのはどれか。

- a 患者調査
- b 国勢調査
- c 学校保健統計調査
- d 国民健康・栄養調査

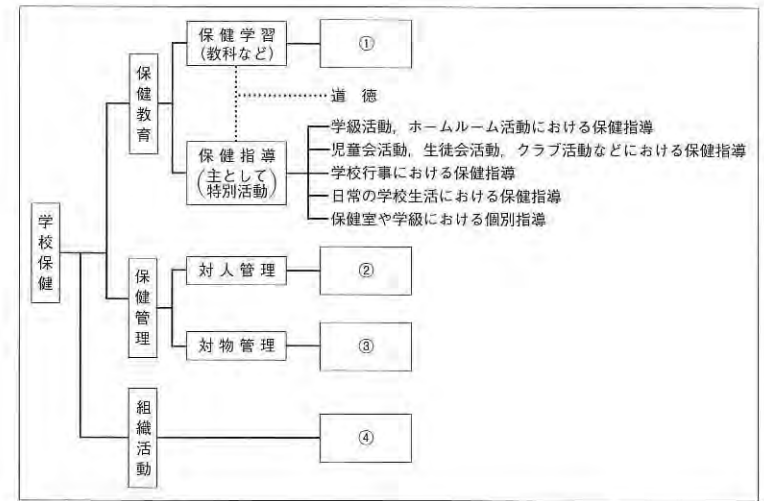
問128 摂食・嚥下運動の流れを図に示す。



食塊が咽頭から嚥下反射により食道へ送り込まれている嚥下の段階はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

問129 学校保健の領域構造を図に示す。



学校歯科医の職務に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

問130 $\left[\frac{62}{4} \mid \frac{4}{26} \right]$ を診査部位とする指数はどれか。2つ選べ。

- a CPI
- b GI
- c PII
- d OHI

問131 う蝕の第一次予防の対策でプロフェッショナルケアに含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a MI Dentistry
- b 小窩裂溝填塞法
- c ルートプレーニング
- d フッ化物歯面塗布法

問132 下線部で正しいのはどれか。

プラークは 歯石ともよばれる。プラークは構成成分が 基質 70~80%、微生物 10~20%である。病原性を有する口腔衛生学上きわめて重要な付着物といえる。歯の平滑面はプラークが付着するには細菌の産生する 菌体外多糖と唾液由来の糖タンパクからなる基質が重要な働きをする。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

問133 口臭の主要原因物質と臭いを表に示す。

由来	成分	臭い
揮発性硫化物質	① メチルメルカプタン ジメチルサルファイド	卵の腐敗臭 野菜の腐敗臭 磯のような腐敗臭
その他	② インドール スカトール	生臭い魚の臭い 排泄物の臭い 排泄物の臭い

①②に入る組合せで正しいのはどれか。

- | | |
|--------|------|
| ① | ② |
| a 硫化水素 | アミン類 |
| b アミン類 | 脂肪酸 |
| c 脂肪酸 | 硫化水素 |
| d 硫化水素 | 脂肪酸 |

問134 スクリーニングの信頼性の指標を表に示す。

	患者	健康	合計
検査陽性	真陽性 a	偽陽性 b	a+b
検査陰性	偽陰性 c	真陰性 d	c+d
合計	a+c	b+d	a+b+c+d

敏感度はどれか。

- a $a / (a+c)$
- b $a / (a+b)$
- c $d / (b+d)$
- d $d / (c+d)$

問135 患者対照研究と比較した場合のコホート研究の特徴はどれか。

- a 観察期間が短い。
- b 費用・労力が大きい。
- c 情報の信頼度が低い。
- d まれな疾患に適している。

問136 「特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起し得る感染症」に分類されているのはどれか。2つ選べ。

- a 結核
- b コレラ
- c 後天性免疫不全症候群
- d 腸管出血性大腸菌感染症

問137 小学校児童における疾病・異常被患率で減少傾向にあるのはどれか。

- a う歯
- b ぜん息
- c 耳疾患
- d 鼻・副鼻腔疾患

問138 高齢者に対する地域支援事業を実施するのはどれか。

- a 病院
- b 市町村
- c 保健所
- d 訪問看護ステーション

問139 労働者の定期健康診断を定めているのはどれか。

- a 労働基準法
- b 健康保険法
- c 労働安全衛生法
- d 労働者災害補償保険法

問140 介護保険制度について正しいのはどれか。

- a 保険者は国である。
- b 被保険者は70歳以上の者である。
- c 要介護認定はかかりつけ医が行う。
- d 予防給付は要支援者に対して行われる。

問141 都道府県における医療計画を定めているのはどれか。

- a 医療法
- b 地域保健法
- c 健康増進法
- d 高齢者の医療の確保に関する法律

問142 6つの基礎食品で第2群にあてはまるのはどれか。2つ選べ。

- a チーズ
- b わかめ
- c りんご
- d かぼちゃ

問143 コレステロールからつくられるのはどれか。2つ選べ。

- a ビタミン D
- b インスリン
- c アドレナリン
- d テストステロン

問144 標準体重について□に入る数字の組合せで正しいのはどれか。

BMI が ① のときの体重を標準体重とよぶ。例えば、身長 160 cm のヒトの標準体重は ② kg である。

- | | | |
|---|----|----|
| | ① | ② |
| a | 22 | 56 |
| b | 22 | 64 |
| c | 24 | 56 |
| d | 24 | 64 |

問145 基礎代謝量について正しいのはどれか。

- a 妊娠後期は低くなる。
- b 体表面積に比例する。
- c 甲状腺機能亢進時は低下する。
- d 1日あたりでは1～2歳が最高である。

問146 歯科衛生士の業務はどれか。2つ選べ。

- a 小窩裂溝填塞
- b 処方せん交付
- c エックス線撮影
- d フッ化物歯面塗布

問147 高圧蒸気滅菌を行えないのはどれか。

- a ピンセット
- b メスホルダー
- c デンタルミラー
- d ガッタパーチャポイント

問148 エックス線の発生に必要なのはどれか。

- a 真空
- b 高電流
- c 高速電子
- d ターゲット

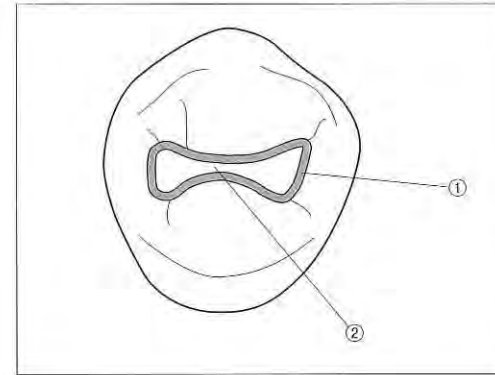
問149 上顎左側側切歯の審美障害の改善を目的とする修復物を製作した。模型上の唇側面および口蓋側側面の写真（別冊 No. 4）を別に示す。

合着時に用いられるセメントはどれか。

- a レジンセメント
- b リン酸亜鉛セメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

別冊
問題 B No. 4 写真

問150 下顎左側第一小白歯の窩洞の図を示す。



正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 点角は4つである。
- b 窩壁は6つである。
- c ①は近心壁である。
- d ②は軸壁である。

問151 1級メタルインレー修復で精密な印象を得るために必要な前準備として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉排除
- b 咬合調整
- c 窩洞の清掃
- d 窩洞の乾燥

問152 歯髄鎮痛消炎に用いる薬剤はどれか。2つ選べ。

- a EDTA
- b ユージノール
- c ホルムクレゾール
- d フェノールカンフル

問153 回転操作をしないで使用する根管治療用器具はどれか。

- a リーマー
- b K ファイル
- c H ファイル
- d ゲーツグリデンドリル

問154 歯周外科治療について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 新付着術の治癒形態は新付着である。
- b 歯周ポケット搔爬術ではメスを使用する。
- c 歯肉切除術は歯肉ポケットの改善に有効である。
- d フラップ手術では歯肉を剝離して根面を直視できる。

問155 歯周基本治療として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕処置
- b 暫間固定
- c 歯肉切除術
- d 陶材焼付鑄造冠の装着

問156 患者が持参した歯ブラシの写真（別冊 No. 5）を別に示す。

口腔清掃の指導を行うにあたり誤っているのはどれか。

- a 歯磨剤の使用を積極的に勧める。
- b ブラッシング圧について確かめる。
- c 歯ブラシを洗浄してから使用させる。
- d どのくらいの期間で交換しているか尋ねる。

別 冊
問題 B No. 5 写真

問157 固定性ブリッジと比較した床義歯の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 清掃が難しい。
- b 修理が容易である。
- c 発音障害が少ない。
- d 歯槽部の回復ができる。

問158 部分被覆冠はどれか。2つ選べ。

- a 陶材焼付鑄造冠
- b ラミネートベニアクラウン
- c レジンジャケットクラウン
- d プロキシマルハーフクラウン

問159 新義歯製作のため口腔内の状態を再現することとなった。臨床操作時の写真（別冊 No. 6）を別に示す。

この装置を用いて行う処置はどれか。

- a パントグラフ法
- b ゴシックアーチ描記
- c スプリットキャスト法
- d フェイスボウトランスファー

別冊
問題 B No. 6 写真

問160 過換気症候群について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 血圧は下降する。
- b 手指のしびれを訴える。
- c 意識消失を伴うことが多い。
- d 血中の二酸化炭素分圧は低下する。

問161 口腔内写真（別冊 No. 7A）とエックス線写真（別冊 No. 7B）を別に示す。この写真に示す残根を抜歯することになった。器具の写真（別冊 No. 7C）を別に示す。

使用する鉗子で正しいのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
問題 B No. 7 写真

問162 ウイルス感染を原因とする疾患はどれか。

- a 顎放線菌症
- b ワルシン腫瘍
- c 流行性耳下腺炎
- d シェーグレン症候群

問163 笑気吸入鎮静法の適応はどれか。2つ選べ。

- a 中耳炎の患者
- b 腸閉塞の患者
- c 筋緊張の強い患者
- d 嘔吐反射の強い患者

問164 不正咬合と原因との組合せで正しいのはどれか。

- a 叢生——乳臼歯の早期喪失
- b 反対咬合——指しゃぶり
- c 過蓋咬合——舌突出癖
- d 正中離開——舌小帯の付着異常

問165 ミラーを使用した口腔内写真（別冊 No. 8）を別に示す。

装着している装置のおもな目的はどれか。

- a 舌突出癖の防止
- b 歯列弓の前方拡大
- c 歯列弓の側方拡大
- d 大白歯の遠心移動

別冊
問題 B No. 8 写真

問166 矯正装置とその目的との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a アクチバトール——叢生の改善
- b ヘッドギア——上顎骨の成長抑制
- c オトガイ帽装置——下顎骨の成長抑制
- d リップバンパー——下顎大白歯の近心移動

問167 乳歯の暫間的間接覆髄法について正しいのはどれか。

- a う蝕症第3度に適応する。
- b 1回の来院で処置が終わる。
- c 軟化象牙質をすべて除去する。
- d 水酸化カルシウム製剤を応用する。

問168 保隙装置の写真（別冊 No. 9）を別に示す。

この装置はどれか。

- a バンドループ
- b クラウンループ
- c リンガルアーチ
- d ナンスのホールディングアーチ

別冊
問題 B No. 9 写真

問169 乳歯の特徴で正しいのはどれか。

- a 有機質は永久歯より少ない。
- b 歯髓腔に対する比率が永久歯より大きい。
- c エナメル質の厚さは永久歯の約 1/4 である。
- d エナメル質の結晶の大きさは永久歯より大きい。

問170 小児の歯の外傷について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 女児に多い。
- b 下顎乳中切歯・中切歯に多い。
- c 治療後も定期的な検査は必要である。
- d 脱落歯は冷たい牛乳に保存し来院させる。

問171 加齢に伴う口腔領域の変化で正しいのはどれか。

- a 歯槽骨への骨添加
- b 口腔粘膜弾性の増加
- c 口腔粘膜上皮の菲薄化
- d ステップリングの明瞭化

問172 高齢者医療におけるチーム医療の職種とその業務内容との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 薬剤師——服薬指導
- b 言語聴覚士——言語訓練
- c 作業療法士——介護指導
- d 理学療法士——視機能回復訓練

問173 摂食・嚥下障害の評価法でおもに唾液を用いるのはどれか。

- a RSST
- b MWST
- c 嚥下造影検査 (VF)
- d 嚥下内視鏡検査 (VE)

問174 ダウン症候群の特徴はどれか。

- a 過剰歯
- b 小下顎症
- c 反対咬合
- d 永久歯早期萌出

問175 右片麻痺の脳血管障害後遺症患者に対する歯科保健指導で正しいのはどれか。

- a 歯磨剤は用いてはならない。
- b 利き手がどちらか確認する。
- c 市販の歯ブラシをそのまま使用する。
- d 手鏡を持たせてブラッシングしてもらう。

問176 ルートプレーニングの目的はどれか。2つ選べ。

- a ステインの除去
- b 歯肉縁上歯石の除去
- c 病的セメント質の除去
- d 歯肉の新付着や再付着の促進

問177 超音波スケーラーについて誤っているのはどれか。

- a 動揺歯に適応できる。
- b 根分岐部に適応できる。
- c すべての患者に適応できる。
- d 多量の歯石沈着に適応できる。

問178 シャープニングについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 小さな力から徐々に大きな力で研ぐ。
- b はじめにアーカンサストーンを用いて研ぐ。
- c スケーラーか砥石のどちらかをしっかり固定する。
- d スラッジはシャープニングが終わりに近づいた目安となる。

問179 シャープニングの仕上げ用に使用する砥石はどれか。

- a ルビーストーン
- b セラミックストーン
- c インディアナストーン
- d カーボランダムストーン

問180 歯面清掃器について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ノズルの先端は歯肉方向へ向けて噴射する。
- b 噴射終了後ただちに十分な洗口を行うよう指示する。
- c ノズルと歯面の間隔は2～5 mm 離れた状態で用いる。
- d 術後数時間は喫煙や着色作用の強いものを摂取しないよう指導する。

問181 歯面研磨に使用しないのはどれか。

- a ラバーチップ
- b ラバーポイント
- c デンタルテープ
- d ポリッシングブラシ

問182 口腔内写真(別冊 No. 10)を別に示す。6.5 歯頸部に白濁を認める。

この症状を改善するため適切な方法はどれか。2つ選べ。

- a フッ化物洗口
- b フッ化物歯面塗布
- c 水道水フッ化物イオン化
- d フッ化ジアンミン銀塗布

別冊
問題 B No. 10 写真

問183 う蝕の発生要因の組合せで誤っているのはどれか。

- a 細菌要因——プラークの活動性
- b 細菌要因——唾液の性状
- c 食餌性基質要因——食生活習慣
- d 食餌性基質要因——食品の種類

問184 1歳6か月児歯科健康診査でO₁型と判定された男児に対し保護者の希望でAPFゲルを歯面塗布した。

次回の塗布時期として適切なのはどれか。

- a 1週間後
- b 1か月後
- c 3か月後
- d 6か月後

問185 う蝕活動性試験に用いる器材の写真（別冊 No. 11）を別に示す。

正しいのはどれか。

- a 唾液中の乳酸菌数の算出を行うものである。
- b ミュータンスレンサ球菌の酸産生能を評価するものである。
- c 唾液を検体としてミュータンスレンサ球菌数を評価するものである。
- d 唾液を検体としてレサズリン還元性細菌の活性を評価するものである。

別冊

問題 B No. 11 写真

問186 う蝕活動性試験の種類、検体、判定時間の組合せで正しいのはどれか。

2つ選べ。

- a RD テスト® ——唾 液——10 分間
- b カリオスタット® ——プラーク——48 時間
- c ミューカウント® ——プラーク——24 時間
- d デントカルト® -SM—唾 液——48 時間

問187 フッ化物歯面塗布法に用いるフッ化物ゲルで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 隣接面へ応用しやすい。
- b 塗布状況が明確である。
- c 塗布後にゲルを拭き取る操作を必要としない。
- d トレーを用いることにより一度に上下顎歯列の塗布ができる。

問188 フッ化物洗口法（週 1 回法）で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 家庭で実施されることが多い。
- b 洗口液の作用時間は 1 分間である。
- c 0.05% フッ化ナトリウム溶液を用いる。
- d 洗口液のフッ化物イオン濃度は 900 ppm である。

問189 第一大臼歯の予防処置後の写真（別冊 No. 12）を別に示す。

この処置について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 銀イオンの働きによる抗菌作用がある。
- b エッチング液でエナメル質表層を脱灰する。
- c 使用するエッチング溶液は 3~5% の正リン酸溶液を用いる。
- d エッチングすることでエナメル質の表層は 10~30 μm 脱灰し凹凸がつくられる。

別冊

問題 B No. 12 写真

問190 小窩裂溝填塞法について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 光照射は填塞面に対して直角に行う。
- b 歯面清掃にフッ化物配合研磨剤を用いる。
- c レジン系の填塞材は半萌出歯が適応症となる。
- d 化学重合型では最後にバーニッシュの塗布を行う。

問191 8歳の女兒。学校歯科健診で未処置のう歯が多く、髪の毛や服装が極度に不潔であり、ほかの子より明らかにやせている様子が観察された。身体にアザなどはなかった。

まず疑われる虐待はどれか。

- a 性的虐待
- b 身体的虐待
- c ネグレクト
- d 心理的虐待

問192 歯肉に現れる疾患像はどれか。2つ選べ。

- a コル
- b クレフト
- c ナイフエッジ
- d フェストウーン

問193 写真（別冊 No. 13）を別に示す。

指導していると考えられるブラッシング法はどれか。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c チャーターズ法
- d スクラッピング法

別冊
問題 B No. 13 写真

問194 7か月の乳児。口腔の写真（別冊 No. 14）を別に示す。

保健指導の内容で適切なのはどれか。

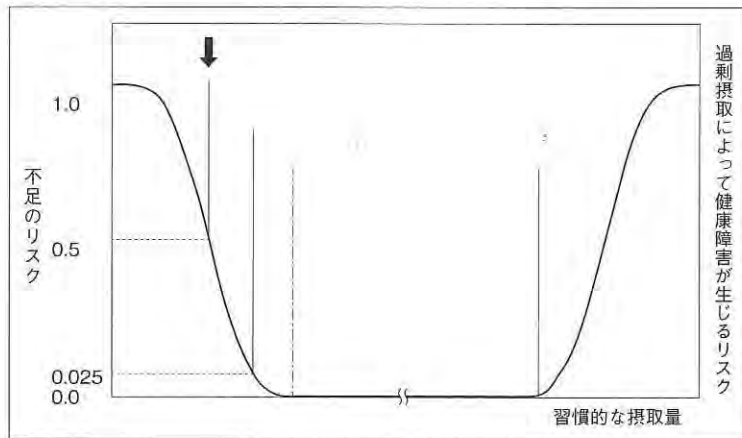
- a 早めに卒乳をしてください。
- b 寝る前の歯磨きを習慣にしてください。
- c ガーゼなどで乳歯を拭ってください。
- d 子ども自身で磨く練習をさせてください。

別冊
問題 B No. 14 写真

問195 口臭検査について正しいのはどれか。

- a 口臭検査ではプラークを培養する必要がある。
- b 官能検査のスコアは0-3までに分類される。
- c 官能検査は正常な嗅覚をもつ人が行う必要がある。
- d 官能検査による判定基準ではスコア1以上から口臭ありと診断される。

問196 日本人の食事摂取基準（2010年版）の概念図を示す。



矢印で示すのはどれか。

- a 目安量
- b 推奨量
- c 耐容上限量
- d 推定平均必要量

問197 朝食欠食率の傾向について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 20歳代が最も低い。
- b 年齢が高くなると増加する。
- c 女性よりも男性のほうが高い。
- d 20歳代男性では約3割である。

問198 対象者から得た情報のうち客観的情報（Oデータ）はどれか。2つ選べ。

- a 主訴
- b 家族歴
- c 唾液検査結果
- d バイタルサイン

問199 禁煙の指導で適切でないのはどれか。

- a 禁煙中のガムは禁止する。
- b 禁煙のメリットを説明する。
- c 患者の禁煙への意志を確認する。
- d タバコやニコチンへの依存度を判定する。

問200 1歳6か月児歯科健康診査でう蝕罹患型がO₂型と判定された。適切な指導事項はどれか。2つ選べ。

- a 清掃方法の指導を行う。
- b 現状を続けるように努力させる。
- c フッ化物溶液の局所塗布を勧める。
- d う蝕進行阻止の処置を受けるよう勧める。

問201 保育所の保護者会で乳幼児の歯科衛生教育を行うことになった。テーマとして適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 糖尿病の予防
- b 歯周病の予防
- c シュガーコントロール
- d フッ化物配合歯磨剤の効果

問202 学校で取り組むべき歯・口の健康づくり課題を示す。

- ①好き嫌いをなく、よくかんで食べる習慣づくり
- ②規則的な食事と間食の習慣の確立
- ③上顎前歯や第一大臼歯のむし歯予防と管理
- ④歯肉炎の原因と予防方法の理解

対象となるのはどの時期か。

- a 小学校低学年
- b 小学校中学年
- c 小学校高学年
- d 中学校

問203 30歳の男性。脳性麻痺によって開口障害がある。

口腔清掃指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 電動歯ブラシを利用する。
- b ヘッドレストを外して行う。
- c 歯ブラシの改良を検討する。
- d すべて介助者が口腔ケアを行う。

問204 摂食機能訓練のうち嚥下反射を誘発するのに最も適しているのはどれか。

- a 喉頭内転運動
- b 舌訓練（口外法）
- c メンデルソン手技
- d 寒冷刺激訓練（咽頭部のアイスマッサージ）

問205 唾液腺マッサージの図を示す。



図が示す刺激を与えている唾液腺はどれか。

- a 耳下腺
- b 舌下腺
- c 顎下腺
- d 口唇腺

問206 口腔内写真撮影時のポイントとして正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 側方を撮影する際には両側を口角鉤でしっかりと牽引する。
- b 正面を撮影する際はファインダーの画面中央に正中を合わせる。
- c 撮影時はカメラレンズが咬合平面の延長線上にくるように構える。
- d 口腔内撮影用ミラーは呼気による曇りを防ぐため熱湯につけておく。

問207 結紮の方法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 結紮線の断端はそのままにしておく。
- b 結紮する際にはプライヤーを使用する。
- c セイフティディスタルエンドカッターで結紮線を切断する。
- d リガチャーインストルメントはブラケットとアーチワイヤーとを結紮するとき使用する。

問208 デイボンディング後に行う歯面観察で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉の腫脹
- b 歯面のクラック
- c プラーク付着状態
- d ブラケット撤去部周辺の白濁

問209 小児の歯科的対応について誤っているのはどれか。

- a TSD 法は系統的脱感作法である。
- b Time Out 法は攻撃的な小児に有効である。
- c モデリング法はほかの小児の治療場面をみせる。
- d トークンエコノミー法は Time Out 法と併用する。

問210 歯科における小児患者の Frankl の行動分類で誤っているのはどれか。

- a 1度：治療を拒否し恐がって大声で泣いたりする。
- b 2度：歯科医師の指示に従うが治療に条件づけをする。
- c 3度：進んで治療に協力するがときに慎重になる。
- d 4度：歯科医師に親しみをもち治療に興味を示す。

問211 高齢者との接し方で誤っているのはどれか。

- a わかりやすく指示する。
- b 相手のペースに合わせる。
- c 非言語的働きかけを少なくする。
- d 認知症の症状の有無を確認する。

問212 82歳の女性。3年前に脳梗塞を患い在宅で療養生活を送っている。食事のときにむせることがあるという。摂食・嚥下機能の評価の結果、間接訓練を行うことになった。間接訓練はどれか。2つ選べ。

- a 嚥下訓練
- b 捕食訓練
- c 嚥下促通訓練
- d 摂食・嚥下体操

問213 歯科診療中でのてんかん発作への対応で誤っているのはどれか。

- a すぐに救急車を呼ぶ。
- b 状態の変化に注意しながら数分間見守る。
- c 衣服をゆるめ、バイタルサインを確認する。
- d すぐに診療を中止し口腔内から器具を取り出す。

問214 障害者（児）のトレーニングについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a トレーニングは毎回違う人が行う。
- b 何かができるようになるたびにほめるようにする。
- c 障害者（児）は言葉の理解が不十分なことが多いので事前説明は必要ない。
- d 不安や恐怖感が強い場合はやり慣れていることから導入していくようにする。

問215 歯科用エックス線撮影の口内法における頭部の固定で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 正中矢状面を床面と垂直にする。
- b ヘッドレストの位置は配慮しない。
- c フランクフルト平面を床面と平行にする。
- d 上下顎の撮影では咬合平面と床面を水平にする。

問216 放射線防護の三原則でないのはどれか。

- a 遮蔽
- b 温度
- c 距離
- d 時間

問217 経皮的動脈血酸素飽和度測定で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a マニキュアは落としてもらう。
- b 健康な若年成人で酸素飽和度は95%である。
- c 酸素飽和度計プローブの点灯を確認する。
- d 酸素飽和度計プローブの装着は基本的に第2指に行う。

問218 ABO式血液型（オモチ検査）試験で誤っているのはどれか。

- a オモチ検査の試薬には抗A血清と抗B血清を使用する。
- b オモチ検査は被検赤血球のA、B抗原の存在の有無を判定する検査である。
- c 抗A血清（+：凝集あり）、抗B血清（+：凝集あり）のときはO型である。
- d 抗A血清（-：凝集なし）、抗B血清（+：凝集あり）のときはB型である。

問219 一次救命処置はどれか。2つ選べ。

- a AED
- b 気管挿管
- c 薬剤の投与
- d 器具を用いない気道確保

問220 23歳の女性。上顎右側歯肉の疼痛を主訴として来院した。診査の結果、上顎右側智歯周囲炎と診断され、抜歯することになった。局所麻酔下で上顎右側智歯の抜歯後、顔面が蒼白になり気分が悪いという。歯科衛生士の対応で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 身体を冷やす。
- b 脈拍を測定する。
- c 頭部を高くする。
- d 酸素吸入器を準備する。

齒科衛生士校内模擬試験



問題 B

別冊

©医歯薬出版株式会社

写真 No. 1 (問 111)

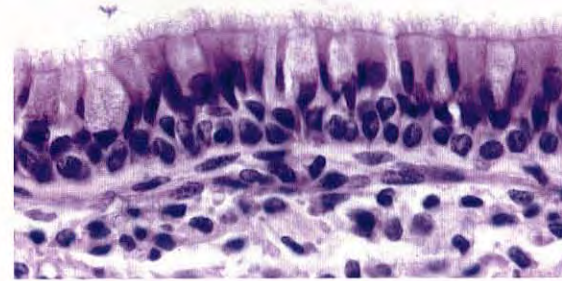


写真 No. 2 (問 113)

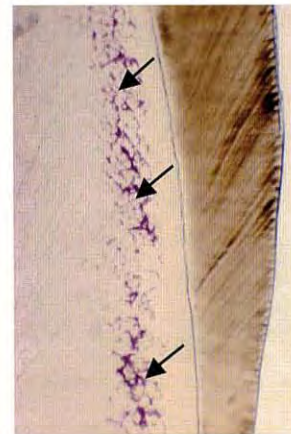


写真 No. 3 (問 114)



写真 No. 4 (問 149)

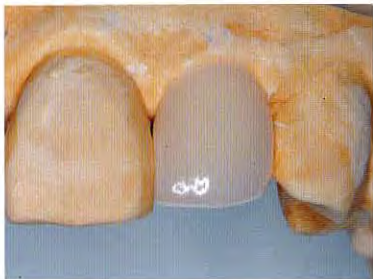


写真 No. 5 (問 156)



写真 No. 6 (問 159)



(「最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常 1 歯科補綴」より)

写真 No. 7

(問 161)



A



B



①



②



③



④

C

写真 No. 8

(問 165)

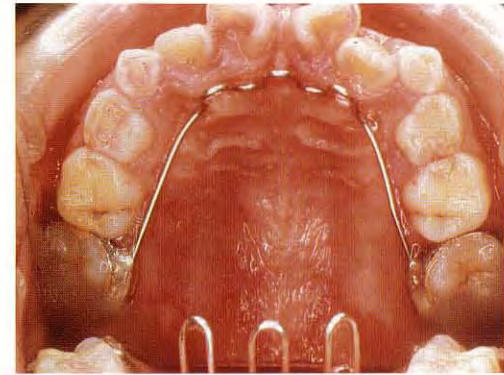


写真 No. 9 (問 168)



写真 No. 10

(問 182)



写真 No. 11

(問 185)

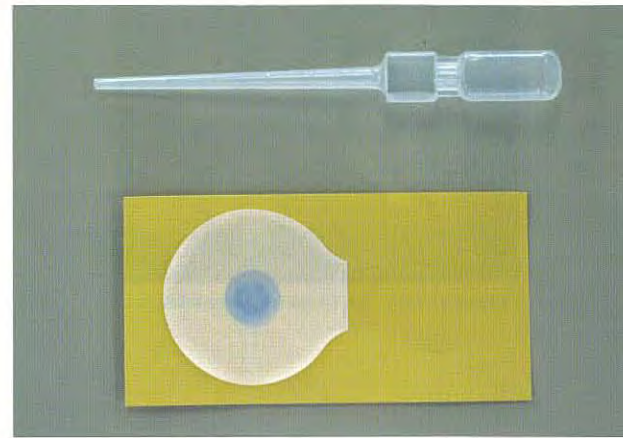


写真 No. 12

(問 189)



写真 No. 13

(問 193)



(「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論」より)

写真 No. 14

(問 194)

